

キク科 ヒマワリ属

ヒマワリ (向日葵)

Helianthus annuus L.

自生環境

植栽 (庭・休耕田など)

原産地

北アメリカ

予想される被害

(今のところ特になし)

こぼれたタネからの野生化株をたまに見かけますが、今のところは、そこから定着・拡大する様子は見られません。栽培時は、タネを野外に落とさないような配慮が必要です。

特徴

- ☆ 北アメリカ原産の1年草で、世界中で栽培されています。日本には江戸時代初期に中国を経て渡来しました。名前から、太陽を向くように回ると考えられがちですが、開花後は動きません。英名は sun flower で、太陽に似た花という意味があります。
- ☆ 絵に描いたような典型的なものは、ロシアヒマワリという品種です。採種用の品種で、とても太い茎が天に向かってまっすぐ伸び、見上げるような高さにも成長します。茎の先に直径30cmにもなる大きな黄色い花を咲かせます。
- ☆ 品種改良が盛んで、多種多様な品種が存在します。草丈15cmほどで咲き卓上でも鑑賞可能な小型品種、盛んに枝分かれして多くの花を咲かせる品種、八重咲きの品種、白色や紅色、茶色といった花色ちがいの品種などが流通しています。

市内の分布状況

外来の園芸植物なので、自生はありません。たまに野生化しますが、短期間で姿を消してしまいます。



お役立ち植物ヒマワリ

まるで庭を照らす太陽のように、大きな花を元気に咲かせるヒマワリ。じつは花を愛でるだけでなく、多様な用途に使われる、お役立ち植物でもあります。タネは、ペットの餌として欠かせない上に、炒ればとても美味しい食材となります。また、タネから搾った油は、良質な食用油となります。そして、茎も有用です。繊維が紙の原料となるほか、燃料や飼料としての用途もあります。

茎の先に直径30cmくらいの大きな花を咲かせる

げっじょうか舌状花

とうじょうか筒状花

葉は毛が多くて、さわるとザラザラ



タネは白と黒の縞模様。同じ花から採れたタネでも、模様はみんなちがう

果実期のヒマワリは下を向く



タネがぎっしりと詰まっている



ヤエヒマワリと呼ばれる八重咲きの品種



花色ちがい。ほかにもいろいろな色がある



プランターでも育つ小型品種

ヒマワリの栽培品種



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

